

ゆりだより



＜万国旗＞国旗に触れ、国ごとに旗があることを知ったり、図柄に興味をもったりする中で、世界に色々な国があることに気づきました。園舎内に飾られた旗や図鑑を見てどの国の旗を描こうか自分で決めました。クレヨンで色や配置を考えながらみんな夢中に描いていました。完成した国旗を見せ合う中で、「私の描いた国と似てるね」「僕のより星の数が多いね」などと気づきや発見があり、友達と一緒に国の名前や場所を調べる姿も見られました。



＜儂倅＞海賊って知ってる？の問いかけに子どもたちからは「お宝、帽子、剣、船、どくろ」などと、いろいろな答えが返ってきました。道具作りの中では「帽子にどくろマークを描いたらどう？」とアイデアを出したり、絵の具を使って色を塗るときは自分たちで試行錯誤を繰り返しながら色作りをしたりしていました。競技の練習を始めると自分たちで作った道具を使うことでより楽しさを感じているようでした。しかし一人だけで、どんどん先に進んでしまったり、ゆっくりやっている子どもたちがいました。友達と協力してゴールを目指すにはどうしたらいい？早くゴールできるためにはどうしたらいい？かを考え、再度行ってみました。すると、海賊の服がうまく着れないペアの子を手伝ったり、声を掛け合いながら息を合わせたりして行うようになりました。儂倅を通して友達と協力することや競い合うことの楽しさに気づいているようでした。

＜バルーン＞初めてバルーンを広げた時には「これ何？」「どうやって使うの？」と興味津々でした。バルーンはみんなで心をひとつにして頑張る競技ということを伝え、最初はいろいろな動きをみんなでやりながら遊びました。子どもたちからは「楽しい！明日もバルーンやりたい！」とバルーンの練習を楽しみにするようになりました。みんなでタイミングを合わせて動かすことで仲間との協調性が育っています。



8月生まれ



9月生まれ

＜組体操＞
ずっと憧れていた組体操、やる気に満ち溢れている子が多くいました。しかし、実際に取り組んでみると思い通りにならなかったり失敗したりして諦めそうになることがありました。また、練習が始まって気持ちの切り替えができずにいる子が多くいました。真剣にやらないとケガをする危険な競技であること、頑張る、一生懸命やる気持ちを見せてほしいことを伝えました。話し合いや細かな練習を重ねると、徐々に子どもたちの表情が変わっていき一人一人が力を発揮し集中して行うようになりました。一つの技を覚えるごとに次の技への期待が高まる子どもたち。全てのポジションを経験して、それぞれの大変さ気づき、相手を思いながら取り組めるようになりました。2学期に入り本格的に練習を行おうとしましたが、コロナの影響でゆり組全員が揃って練習する日が残念ながらありませんでした。運動会当日は、一人一人が自分の役割に責任をもち仲間を信じ、これまでに培った力を表現して最高の組体操に胸が熱くなりました。

＜8月・9月誕生会＞合同で行いました。
『言うこと一緒やること反対』というゲームをしました。「前・後・右・左」の4つの言葉を使い、言った言葉とは反対の動きをします。誕生日の友達に言葉を言ってもらい、みんなが声を出しながら遊びました。「前」と言いながら後ろに下がらなければいけないのに何回も繰り返すとついつい前に動いてしまう子が多く、やってみるとなかなか難しい遊びでしたが、自由遊びの時間も友達同士で遊ぶ姿が見られました。先生からの出し物は、何も無い画用紙からペンが出てきたり、絵を描いた紙をはさみで切ってもきれいななどの手品を披露しました。「やってみたい！」という声が多く出たので種明かしをすると、「これならできるかも！」「家でもやってみる」という声があがりました。